

第VIII欄 (iii) 先の出願の優先権を主張する国際出願日における出願人の資格に関する申立て

申立ては実施規則第219号に規定する標準文書を使用して作成しなければならない。第VIII欄と同欄(i)~(v)の備考の総論部分、及び本頁に特有の事項について第VIII欄(iii)の備考を参照。この欄を使用しないときは、この用紙を願書に含めないこと。

先の出願の優先権を主張する国際出願日における出願人の資格に関する申立て（本国際出願の出願人が、優先権主張する先の出願の出願人と異なる場合、又は先の出願日から出願人の氏名又は名称が変更されている場合）（規則4.17(iii)及び51の2.1(a)(iii)）

本国際出願に関し、

以下の事実により、コニカミノルタホールディングス株式会社及び独立行政法人科学技術振興機構は先の出願 特願2002-310375に基づく優先権を主張する資格を有している。

コニカミノルタホールディングス株式会社については、先の出願の出願人であるミノルタ株式会社とコニカミノルタホールディングス株式会社との2003年10月1日付けの事業統合により、ミノルタ株式会社が有する先の出願の特許を受ける権利の持分を一般承継したこと。

独立行政法人科学技術振興機構については、2003年10月1日付けの独立行政法人化により、科学技術振興事業団が有する先の出願の特許を受ける権利の持分を一般承継したこと。

本申立は、すべての国の指定のためになされたものである。

☐ この申立ての続葉として「第VIII欄(iii)の続き」がある